

歴史、風習、文化…未来へつなぐためには…

特集：神代里神楽(坂本)



「お餅ちょうだい！」と子どもたちに大人気の「神代里神楽」。しかし、魅力はお餅だけではありません。実はとても奥が深いのです。



神代里神楽とは、安政年間(1854~1860年)より伝承される児玉郡系統の里神楽で村指定無形民俗文化財となつています。火災などに見舞われ一度は中断を余儀なくされましたが、明治元年(1868年)に再興したと伝えられています。
現在の神楽は、坂本地区の氏子の中から選ばれた伝承者によつて伝えられ、6名が舞方、3名が囃子方となり、それぞれ「座」で人々を魅了してくれます。その楽しさに毎年多くの人々が訪れます。



神代里神楽の皆さん。やはり年々演舞者が高齢化していき、後継者不足が懸念されています。しかし、参観していたら、驚く方々が舞つていました。写真下段中央にいらつしやる総代の奈良吉雄さん(68歳)に詳しいお話をお聞きしました。

●神代里神楽、注目してほしいと思うところは？

奈良さん…坂本の神代里神楽は他とは一味違つて動きが激しいのですよ。ひよつとも自由に遊んだりして、だから全体的に面白い。だからうちを一度見たら他の里神楽では満足できないでしょうね(笑)

●近年、いろいろな方が舞うようになりましたね。イギリスの方、槻川駐在所の警察官さん、アーティストやミュージシャン…そういった方々の参加はどうして叶つたのですか？
奈良さん…ダメもとで「やってみないかい？」と声をかけたら「やってみます！」と、いい返答をもらつて。

●この絶やしてはいけない行事を未来につなげていくため、そういった多種多様な方々の力が必要ですね。

奈良さん…そうですね。イギリスの方など、引越してきた方々に舞ってもらおうと、いろいろな人に注目されて、そのかつこよさに「お餅」だけに向けていた心にあこがれが生まれ、次の世代につなぐきっかけになると期待しています。現に若い子も集まりつつあつて。これからも守っていききたいです。

●みんな熱い思いをもって大切にしている神代里神楽、皆さんに見てほしいですね。

奈良さん…何しろ東秩父村の神代里神楽はおもしろい！ぜひ他とは違つた里神楽を見て、秋を満喫してください。

ふるさと商工祭・御会式

11月2日(木)
コミュニティセンターやまなみ
浄蓮寺 午前10時～
花火 午後8時～9時(御会式)

坂本神代里神楽

11月3日(金・祝) 坂本八幡大神社
午前10時～午後4時(祭典 午前11時～正午)

御堂・萩平八幡山神社 獅子舞

※笠鉾はなし
11月3日(金・祝) 八幡山神社
午前11時～午後2時(祭典 12時30分～)
午前1本、午後2本

秋の祭り



大内沢・浅間神社 獅子舞

11月5日(日) 浅間神社
午前10時～午後3時
(祭典 午前9時～)

皆谷・朝日根八幡神社 獅子舞

11月3日(金・祝)
八幡神社
午前8時～午後4時
(祭典 午前9時～10時)
※「白刃の舞い」は
午後2時ごろ